

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T B K 代表者名 代表取締役社長 尾方 馨 (コード番号 7277 東証プライム) 問合せ先 執行役員経営企画部長 倉村 雅彦 (TEL 042-739-1473)

業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当無配) および期末配当予想の修正(無配)に関するお知らせ

当社は、2022 年 11 月 10 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022 年 5 月 12 日に公表いたしました 2023 年 3 月期(2022 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日)の業績予想の修正について下記の通り決議しましたので、お知らせいたします。

また、2022 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当(中間配当無配)および 2023 年 3 月期の期末配当予想の修正(無配)について下記の通り決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期 連結業績予想数値の修正(2022年4月1日 ~ 2023年3月31日)

(1) 1010 0/1/9 足相水原 1/1/8 1010 0/1 01 1/1							
	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益		
~ = ~ + ~ + (1)	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭		
前 回 発 表 予 想 (A)	52,000	900	700	500	17.62		
今回発表予想 (B)	53, 000	△400	△400	△600	△21. 14		
增 減 額 (B-A)	1,000	△1, 300	△1, 100	△1, 100	-		
增 減 率 (%)	1.9%	_	_	_	_		
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	51, 194	598	1, 232	783	27. 62		

(2) 修正の理由

売上面では半導体の供給不足や中国の景気減速等の影響により得意先からの受注が減少するなか、コスト面では原材料や電気代の高騰の影響が当初の見通しを上回っております。グループ各社にて費用抑制の徹底を図っているものの、原材料等のコスト上昇に対する販売価格への転嫁が遅れており、当期の業績予想は当初の想定を下回る見込みであります。

これに伴い、2022年5月12日に公表いたしました通期の業績予想を上記の通り修正いたします。

2. 剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当(中間配当)の内容

		決定額	直近の配当予想 (2022年5月12日公表)	前期実績 (2022 年 3 月期)
基	準 日	2022 年 9 月 30 日	同左	2021年9月30日
1 株	当たり配当金	0円00銭	4円00銭	5円00銭
酉2 🗎	当金総額	_	_	146 百万円
効プ	力 発 生 日	_	_	2021年12月3日
酉己	当 原 資	_	_	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

		年間配当金(円)			
		第2四半期末(中間)	期末	年間合計	
前 回 予	想	4円00銭	4円00銭	8円00銭	
今回修正予	想	_	0円00銭	0円00銭	
当 期 実	績	0円00銭	_	_	
前 期 実 (2022 年 3 月期	績)	5円00銭	7円00銭	12円 00 銭	

(3) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付け、長期的に安定した収益基盤・健全で効率的な財務基盤を確立した上で、安定配当の継続と収益状況に応じた利益還元をすることを基本方針としております。

しかしながら、当年度の配当につきましては、第2四半期累計期間業績、および通期業績が前回公表値より大幅に下回る見通しとなったことから、誠に遺憾ではございますが、中間配当および期末配当予想について無配とすることを決議いたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以 上